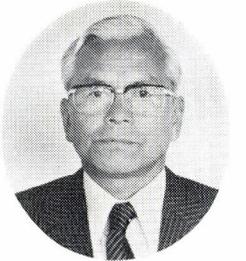


あけまして おめでとう ございます



あけましておめでとうございます。町民の皆様には、お揃いで健康やかな新春をお迎えのことと心から喜び申し上げます。日ごろから町政の推進にあたたかいご支援を賜わり、厚くお礼申し上げます。



昭和六十年の年頭にあたり、町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。あけましておめでとうございます。ここに希望あふれた新春を迎えるにあたり、皆様方のご清福とご繁栄を心からお祝い申し上げます。

対話の政治を実践

高森町長 瀬井 浪夫

題で、大変ご心配とご迷惑をおかけしましたが、皆様の熱意と関係町民の協力で、第三セクター鉄道として存続化が決まり、一応の解決をみる事ができました。また、町政につきましても、町道や農道の整備事業をはじめ、山村広場(町民グラウンド)、畜産基地建設事業、草部北部小学校改築など、数多くの事業を健全財政のもとで順調に進める事ができました。本年はこれらの諸事業を

致を積極的に推進してまいりたいと存じます。国の行政改革が進む中で、地方自治体の果たす役割はいよいよ重要になってまいりました。本町は自主財源に乏しく、行政の鉄則である以上、少ない財源で最も効果の上がる行政に心がけ、また、今まで以上に、皆様との「対話の政治」を実践し、多様化するご要望にお応じて、明るく住みよい町づくりにまい進いたします所存であります。今後とも皆様のご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして新年のごあいさつといたします。

公正適切な要請処理

高森町議会議員 山村 英男

顧りみますと、一昨年現議員が発足以来、当町議会においてもその議権の伸張と、町民の福祉増進を目的として歩んでまいりました。昨年は国鉄高森線対策、水田利用再編対策に明け暮れた一年でもありました。町民各位のご熱意によりまして、ご承知のとおり高森線も第三セクター方式により存続が決定いたしましたことは、この上ない喜びでございます。この実現のためには幾多の難問題が残

線の仕事開始を課題として努力せねばなりません。さて、本年も国においては行政改革の名のもとに、補助金の大幅カットなどを打ち出し、地方自治体の行財政運営が圧迫されることは必至であります。このような厳しい情勢の中にあつて、教育文化の充実、町道をはじめとする生活環境の整備、農商業の振興諸施策など各般にわたる行政需要に対応し、その要請に公正適切にこたえなければならぬと決意を新たにしているところであります。今年が良き年でありますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。



南阿蘇セミナーにき加して

上色見・東中原 荒牧 綾子



熱心に講義を聴く受講生

南阿蘇セミナーが開講されるといふことで、私たちの祖先がどのような暮らしをしていたか、またどのような文化財があるのか知りたくて三つのコースのうちから「南阿蘇の歴史」を受講しました。学習目標は「南阿蘇の歴史と文化に親しみ、地域の一人としての理解を深めると共に、お互いの連帯をはかり、あすの南阿蘇を考える」で、第七回は、今村教育長の「江戸時代の南阿蘇農民の暮らし」の講義があり、上色見地区の祖先がどのような生活していたのだろうか、

思いをはせながら学びました。享保十九年(千七百三十四年)徳川吉宗のころ、大量のヨナが降り、上色見の百姓百六十人が庄屋に反抗して岡領恵良原村(萩町)に逃散しましたが、郡奉行が説き伏せて帰りました。大量のヨナで穀物は何一つ収穫出来なかったのに、税の取り立てがきびしいため、仕方なく老人子供もいっしょに逃げたのでしょう。その頃(領主加藤清正)の上色見は、後藤、荒牧、本田、佐伯、楠木野などの姓が多かったそうでした。蓮寺の住職にお聞きしたら、了蓮寺の佐橋見という姓は、佐伯と楠木野の頭文字を組み合わせたものだという事です。私が子供のころの母の話によると、明治時代は竹田との交流が多かったらしく、お酒や日用品を商うのに馬を引いて竹田まで入りに行き、帰り道には追いきなだが出たといふことでした。上色見は水の便が悪い上に、ヨナの害が多く、米があまりとれないためトウキビが主食で、トウキビ挽き唄もよく聞きました。「西が暗いが雨ではないか 雨じゃござらぬありゃヨナ曇り」の一節はよく覚えて見ます。連合運動会に行くと「色見のトウキビめし食い」と軽べつされたものです。「阿蘇の風土と食生活について

保育園児の入園受け付け始まる

入園申込み受付日程

町では六十年度の町内保育園の入園申し込みを次のとおり受け付けます。入所できる要件は、①母親が家庭内の仕事に従事しており、母親以外の人も保育ができない場合②家庭内の仕事でも、児童と離れてその仕事に従事している場合(ただし、父親がその仕事に従事し、使用人がいる場合は除かれます)③母親の死亡、行方不明、病氣、出産前後④心身障害者があり、母

保育園名	受付日	受付場所	受付時間
高森保育園	1月21日	役場本庁	9時～15時
上色見保育園	1月22日	役場本庁	9時～15時
高森保育園	1月23日	河原保育園	9時～11時30分
河原保育園	1月23日	役場野尻出張所	13時～16時
野尻保育園	1月24日	草部北部保育園	9時～11時30分
草部北部保育園	1月24日	役場草部出張所	13時～16時
草部保育園	1月24日		

考える」という講義では、穀物(雑穀)を食べる、阿蘇の風土に合った食生活をするなど、私たちの日常生活について考えさせられる内容でした。また、南阿蘇の代表的郷土料理を習いましたが、私一人ではもったいなくてプリントを復写して友達にも配りました。非常に有意義な講義を受けることができたうえに、見知らぬ人々との出会いの不思議さもつくづく感じました。田舎には時の流れもよく分かりません。新鮮な気持ちで受講できました。

消防装備を充実

永野原・下切地区と尾下地区

ポンプ積載車配備



新しく配備されたポンプ積載車

います。配備された二つの分団ではさっそく入魂式を行い、正しい取扱訓練を実施しました。

なお、今回の増強で、本町の消防装備は、消防ポンプ車四台、ポンプ積載車十二台、小型動力ポンプ六台となり、今後もポンプ積載

玄関ロビーに「特産品コーナー」

本町の特産品を広く知ってもらおうと、特産品コーナー「写真」がこのほど役場の玄関ロビーに登場しました。瀬井町長の発案で、これまで町長室に陳列、町長自ら町内外の皆さんに紹介してきましたが、もっと多くの人に見てもらうために、玄関ロビーに移転したものです。玄関を入って、正面に陣取った

ガラスケーキには、地酒、しょうゆ、風鎮漬、タカナ漬、お菓子「阿蘇の曙」、お茶のほか、サンショウの木のすりこぎ、田楽人形、木の実細工、阿蘇の花の「しおり」、観光絵はがき「奥阿蘇」など約六十点が収められています。これまで、このサンブルを見た人から注文を受け、製造元から取り寄せたり、電話での問い合わせがあるなど、効果は上々です。皆さんも役場に来られたらぜひ「わが町」の特産品をごらんにな



り、高森の土産品としてご利用ください。

20歳になったら国民年金に加入しましょう

新しいポンプ積載車は、ニッサンアトラス（排気量千六百cc、Wキャブ）を消防用緊急自動車に改装したもので、四十馬力の小型動力ポンプを積載しているほか、拡声機付き電子サイレン、角形の赤色回転灯、夜間の火災に威力を発揮するサーチライトなどを装備し、九人が乗車できます。価格は一台二百四十二万円。第一分団二部は団員十四人で、

新しく成人になられた皆さん、おめでとうございます。二十歳になると、社会的にも成人として権利が認められると同時に、義務も課せられます。国民年金に加入することもその義務の一つです。わが国には、国民年金を始め、厚生年金、船員保険、それに共済組合（四つ）の七つの年金制度が

あります。全ての人がいずれかの年金に加入することになります。国民年金には、他の六つの年金制度に加入していない農林漁業、自営業などの人が加入しなければなりません。成人式を迎えられる皆さんは、老齢年金はまだ先のことと思われるでしょうが、年金制度は「世代

と世代の助け合い」のしくみにより成り立っていて、あなた達がお年寄りを支え、あなた達が歳をとったときには、その時代の若い人達が支えるというしくみです。つまり、皆さんが国民年金に加入して、若くて元気なうちから将来に備えておくことは、自己責任の原則を基本として成り立っています。

今日の社会からみても当然のことといえます。人生八十年といわれる現在、皆さんが歳をとったときや、けがや病気で障害者になられたとき、また、母子家庭になられたときにも国民年金からそれぞれの年金が受けられます。国民年金に加入して生きがいのある人生を歩みましょう。なお、加入の手続きは、国民年金係へ印鑑を持参してください。

中央公民館だより

高森小が逆転初優勝

阿蘇郡小学校対抗駅伝大会

第一回阿蘇郡小学校対抗駅伝大会（郡陸上競技協会主催）が十一月二十三日阿蘇町で開かれ、高森小チームが五十六分四十五秒で初優勝しました。

れたもので、大観宮横をスタート・ゴールの七区間十五、六キロのコースに十三チームが参加しました。

今村迂助さん（阿蘇町）の長年における体育功労記念と、児童の体力と持久力の向上、陸上界の選手育成、底辺の拡大を目的に行わ

午前十一時一斉にスタート、五区まで上位を保った高森小チームは、六区を二位で最終七区にタッチ。残り五百メートルでトップを走っていた阿蘇西小と並びデッドヒ



優勝した高森小チーム

カー、バスケット、ソフトボールクラブから選手を選抜してチームを編成、わずか四日間の練習で大会に出場しての栄冠でした。また、七区を走った榎木野英樹君（六年）が最優秀選手に選ばれました。高森小チームの選手と区間賞は次のとおりです。

- ▽一区 野尻英樹
- 二区 佐藤桂一
- ▽三区 安松秀則
- ▽四区 中川裕
- ▽五区 吉野賢一
- ▽六区 金瀬大國
- ▽七区 榎木野英樹

本町チーム 総合で二位

阿蘇山一周駅伝

阿蘇郡町村対抗阿蘇山一周駅伝大会（郡陸上競技協会主催）が十二月十六日開かれ、本町チームは総合二位になりました。八回目を迎えたこの大会には、郡内から十二チームが参加、本町役場前をスタート・ゴールに、十四区間七十四キロのコースで健闘を競いました。

コースは、前半が本町役場一両併一久木野一長陽一阿蘇町総合体育館前までの八区間、後半が阿蘇町総合体育館前一の宮一坂梨一洗川一本町役場前の六区間。午前十一時一斉にスタート、選手らは冷たい雨が降る悪コンディションの中を力走しました。その結果、前半が二位、後半が四位、総合四時間五十八分五秒でみごと二位となりました。また十二区間の区間賞を幸野茂選手（草部・灰原）がとりました。本町チームの選手は次のとおりです。

社会貢献で顕彰会表彰

高森・上町の加藤正さん



この表彰は、明るくよりよい社会づくりに貢献した人に贈られるもので、スポーツや地域文化の向上に努めた功績が評価されたものです。戦前は、昭和四年に音楽会を組

織したのを皮切りに、野球チーム、歩こう会を組織し、長年にわたり野球大会やハイキングを行いました。現在も、高森写友会会長（写真）、高森愛盆会顧問（盆裁）町文化協会顧問のほか、風鎮祭の造り物の指導者として、多様な趣

味を生かして大活躍、町の名物おじいさんとして親しまれています。宴会の余興で登場するバイオリンの弾き語りは、無声映画の楽士時代に仕込んだ本格的なもの。また、明治四十一年生まれの加藤さん、八十歳を超えた今も大変元気で、愛用のバイクにカメラを載せ、シャッターチャンスを狙って駆け回っています。

菅原浩司、二子石里香、佐藤雄一、津留恒登、野尻計介、竹内辰己、工藤美輝、佐藤修一、相馬良生、工藤公秀、住吉昭則、幸野茂、幸野保、本多孝洋